



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第17号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議

〔編集〕 市民会議専門部会 広報部会

第1回瑞浪市青少年育成市民会議専門部会

令和3年4月28日(水)



第42回瑞浪市主張大会

令和3年6月13日(日)

高校生の部



左より 麗澤瑞浪高校、中京高校

小学生の部



左より 陶小学校、稲津小学校、明世小学校、釜戸小学校、日吉小学校、瑞浪小学校、土岐小学校

中学生の部



左より 麗澤瑞浪中学校、瑞浪中学校、瑞浪南中学校、瑞浪北中学校

組織

瑞浪市民の手で青少年の健全な育成を図るために、市長を会長として、各町民会議、自治会、各種青少年育成団体、学校、PTA等の代表により組織されています。令和元年度に市民会議の活動の効率化・組織のスリム化を図って組織の変更を行いました。現在の組織構成は、年2回の総会と、重点的な活動を行う専門部会と、企画・運営を行う理事会成为っています。各町民会議から推薦された青少年育成推進員と、県青少年育成推進指導員が理事となって、専門部会をリードしています。専門部会は2部会3事業体制で、事業部会（家庭地域教育事業・環境改善事業）と広報部会があり、それぞれ青少年育成にかかわる重点的な活動に取り組んでいます。（6ページの組織表参照）

合い言葉

『瑞浪の青少年は 瑞浪市民の手で

みとめて ほめて はげまして

みんなの力で健やかに』

瑞浪市青少年育成市民会議もコロナ禍のなか、諸活動が制限され、5月の総会も書面決議となりましたが、関係者の皆様のご理解により議案は全て承認されました。次世代を担う青少年が、心身ともにたくましく生きる力をもち、人間性豊かな社会人として成長することは、私たち市民すべての願いです。この願いを実現するためには、青少年自らが生きがいを持ち、自立心を養い、自己の確立を目指すよう努めるとともに、市民すべてが地域ぐるみで青少年の健全育成活動を推進することが大切だと考えています。それを支援し広げていくための組織が瑞浪市青少年育成市民会議です。

瑞浪市主張大会

令和3年6月13日(日)

出場者氏名

◎最優秀賞 「」題名
◎優秀賞

小学生の部

◎加納 奏空 明世小6年

『誰かのために、
みんなのために』

◎三輪 結空 陶 小6年

◎津田 紗里 稲津小6年

◎棚橋 凜桜 釜戸小6年

◎加藤 謙人 日吉小6年

◎度会 芽依 瑞浪小6年

◎中村 奏太 土岐小6年

中学生の部

◎内田 有香 瑞浪南中3年

『心と心をつなぐ』

◎高橋 真之 麗澤瑞浪中3年

◎丸山 愛富 瑞浪中3年

◎三浦 祐依 瑞浪北中3年

高校生の部

◎中西 史馨 麗澤瑞浪高3年

『自ら行動すれば
道は拓かれる』

◎高木 月渚 中京高2年

「心と心をつなぐ」 内田 有香 (瑞浪南中3年)

皆さんの身近に、外国の方は住んでいますか。また、その方と会話をしたことがありますか。

2年ほど前、私が住む団地に、フィリピンの方が引っ越してこられました。その日の夜、父が回覧板や資料を並べて、何やら作業をしていました。「フィリピンの方が、集金の日や場所がわからなくて困っている。だから、訳してあげようと思ってさ。」父はそう言いました。

外国の方のために、時間と労力を費やせる父を尊敬するとともに、外国の方が日本に住む上での不自由さや厳しさを実感しました。

外国の方でも住みやすい町をつくるために私にできることはないのか。

私は父と一緒に考えてみました。「誰かが手助けし続けなくても、外国の方が自力で不自由なく生活できるようにしたい。」私と父の思いは一つでした。私はその想いを成しとげるため、学校でボランティアを募り、活動しようと決めました。それがパンフレットボランティアです。これを実行するために、生徒会副会長に立候補しました。結果は、当選。早速、活動をスタートしました。

まず、町の公民館へ行き、現状からニーズを探ることから始めました。話を伺っていくと、私が住む陶町には、フィリピン人の他に、ブラジルの方も多く住んでいることなど、実態が見えてきました。これらの情報を持ち帰り、話し合った結果、陶町はゴミ出しのルールガイドを、稲津町は、外国の方に訪れてもらうために、英語の町内マップをつくることになりました。

そして、全校へボランティアへの参加を呼びかけたのです。みんなが集まってくれるだろうか、呼びかけたものの最初は不安でいっぱいでした。しかし、初日からたくさんの人が集まってくれたのです。黙々と取り組む姿、協力して取り組む姿——みんなの表情を見ていると、やってよかったと実感しました。こうして、パンフレットは完成したのです。完成したパンフレットは、町の文化祭で展示したり、新聞に掲載させていただくなどして紹介しました。

それから数日後、「新聞見たよ。すごいね。」「わかりやすかったよ。」活動を知った方が話しかけてくださったのです。また一緒にボランティアをしてくれた仲間も、「やってよかった。」「またやりたいな。」そう言ってくれました。手応えを実感した瞬間でした。

公民館にパンフレットを設置してから、半年近くが経った今、実際に外国の方に役立っているかどうかは、まだわかりません。しかし、私は、困っている人のために行動したことは、無駄じゃなかったとはっきり言えます。少なくとも、私たちの活動を知ってくださった方々やボランティアに協力してくれた仲間は、外国の方に対する意識が変化したのではないのでしょうか。私はこれからも外国の方のためにできる支援を続けていきます。日本はまだ外国の方にとって住みやすい環境が整っているとは言えません。しかし、だからこそ外国の方が楽しく生活できる手助けは誰にでもできると思います。例えば、あいさつを試みる。困っていたら、声をかける。そういった一人一人の行動の積み重ねが、国境を越えて助け合える社会を実現させることにつながるのです。

言葉が通じなくても、行動を起こすことで、心を通わせることができます。勇気を出して、行動を起こしましょう。心と心がつながる社会を目指して。



瑞浪市最優秀賞 (中学生の部)
東濃地区最優秀賞 (県優秀賞)

「第42回瑞浪市主張大会」が瑞浪市総合文化センターにて開催され、市内小学校・中学校・高校の各代表が、コロナ対策で参加人数を制限した中でも、自分の思いや考えを堂々と力強く発表しました。

ご来場の皆様より温かい感想をいただきました！

- ・ハキハキした話し方ですごく聞きやすく、子どもが思っていることや考えたことがすごく伝わってきて良かったです。
- ・子どもたちがこんなに社会のことに目を向けているんだと思えたこと、明るい未来を見据えていることが伝わってきたので、胸がいっぱいになりました。
- ・子どもたちの豊かな感性、しっかりした考え、そして聞者を引き付ける話し方、年齢を追うごとに感ずる成長、子どもって素晴らしいなと改めて認識しました。



【小学生の部】加納奏空さん（明世小学校）



【高校生の部】中西史馨さん（麗澤瑞浪高校）

- ・子どもたちの主張を通して、自分自身深く考えていなかった社会的問題について知ることができました。子どもたちの主張の中に、彼らの感性や意思があり、これからの将来が楽しみになるような可能性を感じました。
- ・どれも素晴らしい発表で良かったです。皆で作り上げる主張大会だと感じました。たくさんの方に見ていただきたいなと思いました。

- ・高校生が司会進行でかかわることは素敵です。発表者の間が短くて進行がスムーズで聞きやすかったです。
- ・高校生に活躍の場があることは素晴らしいと思います。彼女たちにとってもとてもよい経験になったと思います。
- ・コロナの中でも感染対策をしっかりして、この大会を開催してくださって本当にありがとうございました。人数の制限などがあっても主張大会が行われて良かったです。



司会進行や審査補助など大会運営に積極的に協力した高校生の皆さん

次代を担う青少年の主張に魅了されました

岐阜県青少年育成推進指導員 三輪武彦

今回の主張大会に参加された皆さんは、身近に起きた出来事や体験をして気付いた事をテーマに話されました。家庭内での出来事で家族の大切さを知ったこと、地域で起きた出来事で地域にかかわりを持つことの大切さなどが伝わってきました。誰もが体験の中で、大切な人から受けた影響を語っていました。

各校でこの日に向けて練習を重ねてこられた成果がよく表れており、若く鋭い感性と素直な思いから生まれた主張が聴く私たちに真っすぐ届きました。審査員も最優秀賞を選ぶのに大変苦労をしました。

次代を担う青少年には、心身共に健康で他者を思いやる心をもって、社会的に自立できるよう健やかに成長してほしいと願っています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自分の考えを正しく伝え、理解してもらう力などを身に付けることが大切になります。

各校の代表として主張大会に参加された皆さんには、正にこうした力が付いてきていると感じました。今回の経験が今後の皆さんのさらなる活躍の礎となることを期待しています。

教育講演会「スマホ・ゲーム機等の危険性」



～ ネットトラブルにまき込まれないために、子どもたちと話していますか？ ～

事業部会（家庭地域教育事業）

7月21日（水）に瑞浪市PTA関係者と青少年育成市民会議事業部会員（家庭地域教育事業担当）の方々に集まっていただき、総合文化センターで開催する予定であった「教育講演会」は、新型コロナウイルスの感染防止の観点からWeb配信での実施となりました。7月21日（水）から9月12日（日）までの期間にWebで視聴していただきました。



講師の田中聡氏は、岐阜県警察に勤務してみえる経験を生かして、小・中・高校生の保護者を中心に「情報モラル」「非行防止」「薬物乱用防止」等をテーマに講演・教室を年間約50回実施し、岐阜県以外でも講演会を多数開催されており、好評を得てみえます。

ネット機器は本来、生活を豊かにするために使うものですが、子どもが被害にあったり、トラブルを起こしたりするケースが増えています。具体的な統計数値や事例を使いながら、次のようなお話をしていただきました。

- ・ ネット機器を上手に使う能力を育てる、身に付けさせることが大人・親の責任
- ・ 子どもがネット機器を使い始めた時の対応が大切
- ・ 成長に合わせて話し合ってルールを変えていく
- ・ 子どもは小さい頃から当たり前にネット機器がある環境にいて、大人と子どもではネット機器の使い方・感覚が違う
- ・ 不特定多数の全世界の人に公開されており、インターネットの向こうにはたくさんの犯罪者がいるということを意識する
- ・ ネット上に載せる時は『一度立ち止まる』癖をつける

講師：田中 聡 氏（岐阜県警察本部生活安全部少年課（少年サポートセンター所属））

講演を視聴された方々からの感想

青少年育成推進員（日吉町） 堀部睦美

今回のお話で印象深く感じたのは、ネット機器に関わる現状の中で親世代と子どもたちでは使い方や感覚が違うということでした。親世代はグーグルなどの検索・メールを多く使用しているのに対し、子ども世代はTwitterやInstagram、LINEの使用が主であるということです。

確かに親世代は、Twitterなどの正しい知識に疎い部分があり、なかなか子どもたちの使い方や危険性に対し、助言ができないことが多いのかもしれませんが、しかし、子どもと同じ目線に立ち、その利便性や知識を共有することにより、正しく扱う能力を身に付けさせることが、親としての責任であることを再認識する良い機会となったと思います。

私のほかにも、視聴された方々から多くの感想をいただきました。一部を紹介します。

- ・ 子どもと大人の携帯に対する感じ方の違いがよく分かりました。さらに、SNS等で全世界に、一瞬でつながり、それは取り返しがつかないものだということに、自分でもはっきりと自覚してはいなかったことに思い当たりました。
- ・ ネットトラブルを起こした児童と接している方だからこそ、話の内容に真実味がありました。「親としての自覚」をもって、何かあった時には、自分の責任と思ってほしい。子どもの時に起こしたネット上のことを、大人になっても背負っている人がいる。この部分を意識して子どもと話し合っていきます。
- ・ 子どもがよくオンラインゲームをやっていますが、友だちとの会話で相手が不快に思うようなことを言ったりするのが気になります。注意しても、ゲームをやりだすと夢中で忘れているようで、顔が見られない分、簡単にそのような言葉が出てしまうのでは。年齢制限以上のゲームもやっていますが、親が常に監視しているわけではないので、気をつけなければいけないと思いました。
- ・ 「親が普段スマホを使う姿勢を子どもは見ている」というところが心に響きました。日頃、自分自身が結構雑に使っているのを、これを機会に見直したいと思いました。

東濃西部少年センター瑞浪地区総会を開催、活動を開始

少年センター指導員瑞浪地区長 三宅 滋郎

東濃西部少年センターは、瑞浪市・土岐市・多治見市の三市からなる東濃西部広域行政事務組合の事業の1つとして、圏域内の青少年を対象にした街頭声かけ活動、少年相談、環境浄化、広報啓発等を通して青少年の非行防止に努めるとともに、より広く、より多くの青少年と触れ合い、励まし、健全な青少年の保護育成のための活動を推進しています。

毎年、三市の各種団体から推薦された少年センター指導員が一堂に会して委嘱式・総会が開催されていますが、まん延防止等重点措置が発令されていた状況から、今年度は5月12日（水）に瑞浪地区のみでの委嘱式・総会を行いました。

少年センター瑞浪地区指導員は、月1回、夜間巡回や登下校時の声かけ、ゴミ拾いを実施していますが、昨年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、多くの活動ができませんでした。今年度は、感染防止に留意しつつ、青少年への声かけ活動を進めていきたいと考えています。

各地域で、黄色いベストを着た少年センター瑞浪地区指導員を見かけましたら、声をかけていただきたいと思います。その際、青少年にかかわって気になることや感心したことなどを教えていただけるとありがたいです。

瑞浪市民の皆様からも、青少年に挨拶や帰宅を促すなどの声かけを積極的に行っていただけると助かります。



【少年センターの今井宏明所長に出席いただいて瑞浪地区総会を開催】

「夏季特別街頭指導」(7/13～9/21)に参加して

青少年育成推進員（大湫町） 向井 一峰

日頃から地元で活動しておられる東濃西部少年センター瑞浪地区指導員の皆さんに班長になっていただき、中央公民館から市役所周辺、大型店舗周辺、沿道の公園、さらには一日市場から駅裏・駅前、土岐川沿い道路を巡回し、夜間出歩いている子どもたちへの声かけ注意、安全指導とともに、ゴミ拾い等の清掃美化活動をしました。

新型コロナウイルス感染拡大第5波のなか、不要不急の外出の自粛が求められる状況下では、夕方の市内にも多くの人出はありませんでした。そうしたなかで、コンビニの駐車場で出会った部活動帰りの高校生で



しょうか。声をかけると「ご苦労様です。ありがとうございます。」と礼儀正しい挨拶が返ってきました。道ですれ違う地元の方々からも「ご苦労様です。」と声をかけていただきました。終業式の夕方とあって、庭先で花火の準備をしていた家族からも労いの言葉をいただきました。この活動が瑞浪市民の中にしっかりと根付いてきていることを強く感じました。夕方とは言え、真夏の熱気が残るなか、地道な活動ではありますが、今後も長く続けていくことが大切だと実感しました。

瑞浪市青少年育成市民会議の構成団体は、以下の諸団体です。

＊市議会 ＊教育委員会 ＊各地区町民会議 ＊社会教育委員会 ＊連合自治会 ＊市小中学校校長会
 ＊市幼稚園園長会 ＊瑞浪高等学校 ＊中京高等学校 ＊麗澤瑞浪中学・高等学校 ＊中京学院大学
 ＊市PTA連合会 ＊市子ども会連合会 ＊市スポーツ少年団 ＊市民生委員・児童委員協議会
 ＊東濃西部少年センター ＊社会福祉協議会 ＊瑞浪保護区保護司会 ＊多治見警察署瑞浪警部交番
 ＊瑞浪ロータリークラブ ＊瑞浪ライオンズクラブ ＊瑞浪桔梗ライオンズクラブ ＊瑞浪青年会議所

瑞浪市青少年育成市民会議本部

★理事代表 ☆理事副代表

会長 水野 光二（瑞浪市長）

◇強調月間啓発活動
（7月・11月）

県指導員 三輪 武彦	小 木 曾 正 尚	桑 原 義 孝	中 根 圭 一	溝 口 弥	和 田 建 司	岩 島 辰 也	向 井 一 峰	☆旗 秀 樹	☆堀 部 睦 美	★萩 尾 英 明	市推進員	加 藤 博 之	柴 田 洋 子	羽 柴 誠 太	可 児 恵 太	顧 問	工 藤 仁 士	水 野 勝 人	監 事	成 重 隆 志	加 藤 輔 之	山 田 幸 男	勝 康 弘	副会長
---------------	-----------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	--------	----------	----------	------	---------	---------	---------	---------	-----	---------	---------	-----	---------	---------	---------	-------	-----

専門部会

【 】部会 ◎部会長
◇主な活動 ○副部会長

【事業部会】

◎堀部 睦美

<家庭地域教育事業>

- ◇「高校生と語る会」
- ◇「教育講演・懇談会」

○向井 一峰
 山下 千尋
 岩島 哲也
 堀部 なを
 畑迫 幸子
 松井 廉
 丸山 和宏
 石川 哲也
 羽柴 正典
 森井 美香
 有我 加代
 藤田 瑞穂
 河口 敦子
 土屋泰次郎
 小木曾文和
 水野 勝人
 安藤 隆宏
 安藤 豊
 安藤 貴通
 木村 伸哉
 岩島留美子
 伊藤 明芳
 工藤 剛士
 溝口 弥

<環境改善事業>

- ◇「夏季特別街頭指導」
- ◇「無ガム中」大作戦

○和田 建司
 加納 素介
 小川 正人
 三宅 滋郎
 安田 貴彦
 青木 彩人
 伊藤 康浩
 足立妃都美
 小木曾善広
 安藤 昇
 比留間 孝
 梶田 正紀
 安藤 敏彦
 金津 誉
 武田 真優
 三輪 武彦
 岩島 辰也
 中根 圭一
 桑原 義孝
 小木曾正尚

【広報部会】

◎旗 秀樹

◇「市民会議だより」

○萩尾 英明 永井 研
 工藤 仁士 浅沼 克郎
 早瀬 徹

今後の主な年間活動予定

- ・11月『子ども・若者育成支援強調月間』啓発活動
- ※各地区文化祭並びに中央公民館文化祭にて、啓発グッズを配布する活動を行います。
- ・12月18日（土）「無ガム中」大作戦（駅周辺清掃ボランティア活動）
- ・1月28日（金）第2回専門部会
- ・2月13日（日）第2回青少年育成市民会議総会（表彰・モデル地区発表）
- ※5月の第1回市民会議総会で実施できなかった講演会（講師：家田荘子氏）の開催も予定しています。

編集後記

本年度も新型コロナウイルスの感染防止の観点から、状況をみながら年間の活動予定を変更・中止する場合があります。

今後も市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

瑞浪市青少年育成市民会議 広報部会
総合文化センター TEL 68-5281